

放送日 平成30年12月3日（月）

担当者 福祉課 片山 裕太

おはようございます。福祉課障がい福祉担当の片山です。私は市役所に入庁し、はや4年が経過しました。今日は、その業務を行う中で感じていることについてお話をさせていただこうと思います。

皆さんは業務について、他の職員にしっかりと教えていますか？「目で盗め」と口にはしなくても、そのようなスタンスになってはいませんか？

深刻な人手不足が叫ばれる職人の世界では、弟子の育成方法に変化が起きているそうです。「技術は目で盗め」というのは悪しき風習として、現在は一つ一つ要点を説明し、わからないところを丁寧に教える環境となっているそうです。ある布団作りの職人が息子対し、「目で盗め。」と絶対に言わず、最初から丁寧に教えたところ、布団作りの大会で経験10年以上の職人達を抜いて、3年ほどの経験で優勝したといった例もあるようです。

「目で盗め」というのは、自分の確立した利益を保持したいだけであり、やるべきことがあふれている現代において、とても非効率的であり、時代遅れとなっているとのことです。

私は、これは当市においても同様と感じており、法律や制度が毎年のように変わる中で、マニュアル化や教えるのが難しいという部分もあります。しかし、そこで「目で盗め」というのではなく、丁寧に教える姿勢こそが重要だと考えています。若い職員は、周りの先輩方が忙しい中、質問を行うのはとても気が引けます。そんなとき、その様子に気が付き、「何か困っていることある？」と自ら教える姿勢を見せる職員になることを目標としています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月5日（水）

担当者 高齢者支援課 林 宏樹

おはようございます。高齢者支援課の林です。

ボールパーク建設決定に沸く北広島市ですが、本日は、競技自体がメジャーではないため、あまり一般には知られていないと思いますが、北広島市出身のアスリートについて、お話しさせていただきたいと思います。

競技はバドミントン女子ダブルス、東部中学校出身の選手です。たまたま、お父さんと友人であったため、小さいころから知る機会がありましたが、東部中学校で活躍、卒業後は親元を離れ、埼玉県の高校に進学。現在はS Jリーグ、実業団のヨネックスに所属し、世界を転戦しています。

ワールドツアー優勝も果たし、最新の世界ランキングでは10位と、普通であれば、東京オリンピック出場が確実視される場所ですが、現在の日本は空前の選手層の厚さを誇り、彼女たちよりもランクが上のペアが4組います。一か国の出場枠制限により、現在のままであれば出場することはできません。

もちろん、2年後はわかりません。彼女たちより現在のランクは上でも、ピークを過ぎ、落ちてくるであろうペアもありますが、逆に下から上がってくるペアもいるかもしれません。

現在まだ20歳の彼女は、東京オリンピックはもちろん視野に入れながら、その次、2024年のパリオリンピックでの金メダルを目指し、頑張るということです。

北広島から、声援を送り続けたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月6日(木)

担当者 福祉課 平田 隆二

おはようございます。保健福祉部福祉課生活保護担当の平田です。

私は、今年で入庁3年目となりました。入庁したてのころは、生活保護制度に対してあまり知識がなく漠然と生活に困窮している方を税金により金銭的に支援する仕事だと思っていました。しかし、実際に業務を行ってみると、困難な課題に直面している生活保護受給者とともに自立に向けてその課題を解決していくというとても複雑な業務であると感じるようになりました。

私たちケースワーカーは、日々さまざまな支援を行っておりますが、その支援の中で大切にしていることがあります。それは生活保護受給者のアセスメントです。アセスメントとは、受給者個々の自立に向けた課題分析を行い、解決の方向性を見定めることを意味します。

また、より良いアセスメントのためにストレングスの視点を忘れないようにしています。ストレングスの視点とは、受給者本人に、自身の生活や人生をよりよくするために動き出すきっかけを生み出す力となる強みを見つけ出す視点のことです。これらのことを大切にしながらこれからも生活保護受給者に対して自立に向けた手助けが出来ればと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月7日(金)
担当者 高齢者支援課 池端 宏記

おはようございます。高齢者支援課の池端です。

気がつけば、今年も残り1か月を切り、平成から新しい元号への移行といった、新たな時代への節目に差し掛かっています。

この節目の中、社会では、高齢化が急速に進み、介護を必要とする高齢者が増加していくことが見込まれています。関係機関がそれぞれ持つ目標に対して独立した取り組みを行うだけではなく、今後は、行政、企業、地域住民が連携することが重要になってきます。また、地域の状況やニーズに応じた目標を掲げ、共有し、その目標に向け試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいくことが、次の時代へ向かうために必要不可欠であり、高齢者だけではなく、世代を超えた社会を支える仕組みづくりになると思っています。

その取組の一つとして、本年度7月1日から新規就労者に対し支援金を交付する福祉人材確保対策就労支援金事業が始まりました。この事業は、新たな福祉人材の確保や市内事業所・施設のサービス提供体制の確保、定住促進を目的としていますが、現在事業所や施設が抱えている人材不足を解消することはもちろんのこと、次の時代を担う子どもたちが、十分な福祉サービスを利用でき、安心して暮らせる社会にするための事業だと思っています。

今現在、実施している様々な取組が、すべて次の世代においても継続して実施されるとは思いませんが、時代の過渡期である今、社会に求められることにアンテナを張り、やれるべきことに全力で取り組むことが次の世代へ残せるものと信じ、日々の業務に取り組んでいきたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月10日(月)

担当者 高齢者・障がい者相談担当 後藤 祐子

おはようございます。高齢者・障がい者相談担当の後藤です。私は通勤時、黒いラブラドルレトリバーを連れた男性について目を向けてしまいます。

男性は左手に白い胴輪を握り、まっすぐ前を向いて駅のホームに立っています。その横には、電車が来るであろう線路を、微動だにせず、ただじっと見つめている黒いラブラドルレトリバーの姿があります。私はその1人と1頭の絆の深さを感じ、つい彼らに目をむけてしまうのです。

その男性は眼が不自由な方で、黒いラブラドルレトリバーは「盲導犬」です。盲導犬は男性の眼となり日常生活を支える仕事を、今日も一生懸命行っています。

平成30年10月現在、全国で活動している盲導犬は941頭で、そのうち51頭が北海道で活動しているそうです。

高齢者・障がい者相談担当では、何らかの理由により日常生活に支障がある方々の相談や支援を行っています。

困っている事が上手く伝えられず悩んでいる方、今まで出来ていた事が出来なくなる不安や葛藤を抱えながら相談に来る方、またご家族からの相談もあります。

このような相談を初めて受けた時などは、朝のミーティングでスタッフ同士、情報共有を行っています。相談内容の整理や確認の機会となり、また他のスタッフの支援方法を聞く事で、自分自身の学びにも繋がっています。

日々のコミュニケーションはお互いの絆を深めます。よろしければ、皆さんの職場でも朝のミーティングを行ってみてはいかがでしょうか。今よりもスタッフ同士の絆が深まると思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月11日(火)

担当者 健康推進課 木村 綾香

おはようございます。健康推進課、管理栄養士の木村綾香です。私が栄養士を目指した理由は、食べることが好きだからです。今、このスピーチをお聞きいただいている方もおそらく、食べることが嫌いな方はほとんどいないと思います。学生時代は、腎臓病などの病気になった時の食事献立を学びました。学習の中で「病気になると、使用できる食材が限られる。限定された中で作る献立は、なんてつまらないだろう。食材が限定されるくらいの病気になる前に、健康なままで生きていきたい」と強く思ったものです。現在私は、健診の結果から数値の表す意味をご説明し、生活習慣の改善の方法についてご相談に応じる仕事をしています。1人でも多くの方が、使用できる食材が限定されるような生活をしないために、これからもご相談に応じていきたいと思っています。食材が限定されるような生活の前に起こる、動脈硬化のしくみについては、明日スピーチ予定の尾金よりお話しがありますのでぜひお聞きください。

最後に、みなさんへクイズを出します。今から言う食べ物を、ごはん茶碗1杯分に例えると、何杯分になるかを考えてみてください。

食べ物は3つ言います。この3つは全て、ご飯茶碗1杯分に例えると同じになります。1つ目、クリームパン1個。2つ目、たこ焼き1パック。プリッツ1箱。正解は3杯分です。いかがでしたか。このスピーチを聞いて、日頃の食べ方が気になった方がおりましたら、健診結果をお持ちになって木村までご相談ください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日 元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月12日(水)
担当者 健康推進課 尾金 佐織

おはようございます。昨日の朝のスピーチで動脈硬化のバトンを受け取った健康推進課の保健師、尾金です。

私は最近、動脈硬化ってこういうことかと思った面白い漫画を読みました。この漫画が秀逸なのは人間の体をブラック企業に見立て、時間に関係なく入ってくるアルコールやつまみ、間食やたばこの処理のため24時間フル稼働する細胞や細胞へ栄養と酸素を運ぶ血液の成分が疲弊していく様子が描かれていることです。血液の成分は黙々と働くうちに運搬道路として整備された道である血管が傷んでゆくのですが、道路の補正のため道幅が狭くなり通常の運搬の効率が悪くなったり、通行止めで通れなくなり運搬を断念せざるを得なくなります。これが動脈硬化といわれる状態の一つです。酸素や栄養が届かないため、漫画の中では心臓の細胞が酸欠と飢えに苦しみ心筋梗塞を起こします。幸い治療を受け心臓の細胞も、血液の成分も安らぎを得るのですが、体の主が回復すると、アルコールやつまみ、たばこが再開され再び体内はブラック企業へと様変わりしていきます。細胞や血液の成分たちの嘆きや叫びは、体の持ち主には届かないという何ともやりきれない切なさが残ります。動脈硬化は自覚症状が出ないことが症状です。自覚症状は大きな臓器、脳や心臓、腎臓等が困らないと出てこないと言われています。臓器が「困った。」という状況になる前に、多くの場合動脈硬化という状態が起きているそうです。実は健診で調べている検査項目には動脈硬化の危険因子も含まれています。今年の健診結果はいかがでしたか？結果が何を意味しているのか詳しく知りたい方は、健診結果を持って保健センターまでお越しください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月13日(木)
担当者 健康推進課 土山 律子

おはようございます。健康推進課の土山です。健康推進課は、保健師や管理栄養士等専門職を中心に総勢職員31人が特定健診や保健指導・介護予防事業・がん検診・乳幼児健診など赤ちゃんから高齢者まで市民の健康維持・増進に関わる事業を実施しています。

健康は自己管理が大切です。昨日一昨日の保健指導の専門家である管理栄養士と保健師からのスピーチにあった食事の大切さ、自覚症状なく進行する動脈硬化の怖さを覚えていますか。2人に1人はがんになる現在、体の異常や病気の発見が遅れて後から後悔しないため健診を必ず受診しましょう。そして健診結果を見て自分の体の状態を数字で確認してみてください。もしも、健診結果の数値や食事や動脈硬化等についての相談のある方は健診結果をもって気軽に市役所1階の保健センターにお越しください。保健師や管理栄養士ができる限りやさしく相談に対応します。

特に相談のないという方、保健センターロビーにご自身で簡単に健康チェックできる5台の健康機器のある「健康測定コーナー」にいらっしゃいませんか？①身長体重を同時に測定し肥満度を測定してくれる全自動身長体重計、②体重、筋力、脂肪量を測定する体組成計、③血圧と血管の硬さも測れる血管機能測定計、④全自動血圧計、⑤ゲーム感覚で認知症検査をする物忘れプログラムと自由に測定しすべて結果表が印刷できるので、保存し比較することで日々の健康管理に役立てることができます。

年末年始は何かと忙しく夜更かしや忘年会新年会等で生活習慣も乱れがちです。私も含めてですが、食べ過ぎ飲みすぎには特に十分注意しましょう。気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月14日（金）

担当者 保険年金課 山田 恭平

おはようございます。保険福祉部保険年金課の山田恭平です。

私が現在所属する保険年金課は大きく分けて国民健康保険の賦課業務、給付業務、国民年金、後期高齢者医療、医療費助成を担当しております。

主に5つの担当に分かれていてその中で私が業務を進めていく上で大切にしていることが2つあります。

まずひとつは「わかりやすい案内」です。

窓口手続きに来庁した際は、「難しくてわかりにくい表現を、簡単な言葉に置き換えることはできないだろうか。説明に漏れはないだろうか。文書を送る際には一読してすぐに理解することができるだろうか。レイアウトは行間が詰まっていて見づらくないだろうか。図や表を使った方がわかりやすいのではないか。」など常に市民目線であることを心がけています。

2つ目は「横との連携」です。

健康保険の業務は世帯の誰かになにかしらの動きがあると保険税額が変更になったり、窓口負担割合が変更になったりと自分の担当しているところとは別のところで影響が起こったり、健康保険の手続きだけだと思っていたら、付随して医療費助成担当や国民年金担当にも届出が必要になるケースもあるため、情報の共有を怠るとクレームにつながる場合があります。そのため、手続きの際は、他の担当への声かけを忘れず、わからないことがあれば制度の理解を深めるよう互いに教えあったりして

より質の高い行政サービスを提供できるよう努めております。

今後も原課だけではなく、他の課のスタッフの皆さまとも連携を強めていきたいと思っておりますので、その際はご協力、そしてご享受のほどよろしくお願ひします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月17日（月）

担当者 保険年金課 菊地 和良

おはようございます。保険年金課の菊地です。

私には、1歳8か月になる息子がいます。毎日、毎日あわただしい日々ですが、子供が生まれたからこそ実感できた北広島市の魅力についてお話ししたいと思います。

私ら夫婦は共働きで、妻が土日に出勤することもあり、両親も近居していないため、私一人で子供を見る機会が多々あります。その時にありがたいのが、子供を遊ばせる場所が多くあることです。市内にはたくさんの公園があり、日常的に自然と触れ合うことができます。また、市役所内にある子育て支援センター「あいあい」は無料で施設を使うことができるため、天気の悪い日や、雪の降る今の時期に、遊具などで遊ぶことができ、とても助かります。ほかにも、芸術文化ホールで子供向けの演劇を観たり、図書館で絵本を借りて読み聞かせすることも、子供にとって良い刺激になっていると思います。

今年の4月から息子は保育園に入園しましたが、保育園になれるまでは、すぐに風邪をひき、高熱を出しては、病院に走っていました。ただ、私の所属する保険年金課で行っているこども医療費助成によって、市内の医療機関であれば無料で受診することができるため、家計を助けてくれています。

これらのことは、独身の時にはあまり意識していなかった、子供ができたからこそ感じることでできる北広島市の魅力であり、北広島市は子育てしやすい環境が整っている街だと感じます。やはり5年連続住みよさランキング北海道内1位は伊達じゃないと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月18日(火)

担当者 保険年金課 後藤 功貴

おはようございます。保険年金課の後藤功貴です。

私は、幼稚園の時から卓球を続けています。幼少の頃から卓球では、自分が頼れる武器を探して、それを磨くように、そしてそれがわからなければ強い人から盗むようにと教わってきました。今、話題の張本智和選手は台上ドライブからの打点の早い連続ドライブが武器だと思います。私も武器と呼べるかは難しいところですが、ミスの少ないプレーを自分の武器として、それを伸ばしていきたいと思っています。

仕事でも同じく、自分が頼れる武器を探して、磨いていきたいと考えています。私はまだ、仕事においては、武器であると自信をもって言えるようなことは見つけることができていません。周りの方を見ますと、人前で流ちょうに話す、わかりやすく話すなどの話す力や窓口対応力が高い方、他の課や係内でコミュニケーションをうまく図り、調整能力が高い方、契約・会計・予算関係の市役所の基本的な業務に詳しい方など様々な武器を持った素晴らしい方が多くいらっしゃいます。

市役所に勤めて、5年目となりますので、こういった方たちの仕事の進め方を盗んで、その中で自分なりに得意だと思えるものを伸ばす努力をしていきたいと思っています。そして、早く得意な武器を活かして、北広島市に貢献できる職員になりたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月19日(水)

担当者 保険年金課 矢吹 淳志

おはようございます。保険年金課の矢吹です。

私は小学校の頃からサッカーをしています。サッカーは、勝利という目標に向かって、11人のチーム全員が一丸となり行動することが求められます。勝利のために、相手を分析し、例えば、対戦相手の守備に高さがないと感じたら、ロングボールで攻めたり、相手の攻撃陣に足が速い選手がいたら、複数の人でマークをしたり、問題や課題が出てくるたびに、チーム全体で意識を統一し戦術を実行します。

仕事においても、チームスポーツのサッカーと同様に、チームで意識を統一し課題解決に向かうことが重要であると考えます。問題が生じたときに、1人で納得するまでしっかり考えることも確かに重要ですが、チーム全体で話し合うことで、単独の視点ではなく、多面的に物事を捉えることができるようになり、より効果的な解決策を生み出すことができると考えているからです。

これまでも、業務中に、対応に困った、という事態に陥った時に、周りの方に自分ひとりでは気づけなかった観点でアドバイスをもらい、問題を解決できたということが何度もありました。

もちろん、前提として、チームのひとりひとりが、課題に対して、他人事とせず、能動的に責任感を持って物事に向き合うことが大切となるので、自分自身もチームや自分の課題にしっかり取り組んで、チームに貢献し、一番の目標である、快適な市民生活の実現に貢献していきたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月20日(木)

担当者 子ども家庭課 佐々木 和彦

おはようございます。子ども家庭課の佐々木です。

早いもので、今年も残すところ今日を入れて12日となりました。実勤務日は6日、2階フロアのお客さんが心なしか増えているように見えます。そんな中、年末業務に追われている方も多いのではないのでしょうか。

なかなか難しいことではありますが、日頃から先を見据えて計画的に仕事に取り組む姿勢を持つことで、「ゆとり」が生まれ、結果的に「ミスの少ない効率的な業務」や「有給休暇」を作り出すことが出来るのではないのでしょうか。意識してみてください。

さて、話は変わりますが、平成生まれの若い職員もテレビの映像で見たことがあると思いますが、小渕恵三が「昭和」に変わる新元号「平成」を掲げて今年で30年、来年5月の新天皇即位のため、この元号で年末年始を迎えるのも最後になります。

そこで私は、今年の年末に今までした事のないことをしてみようと思っています。それは、大晦日にテレビで必ず見かける光景なのに、私が一度もしたことのない「大晦日の昼間にソバ屋で年越しそば」です。どの様な師走の雰囲気味わえるか楽しみにしています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月21日(金)
担当者 子ども家庭課 畠山 あゆみ

おはようございます。子ども家庭課の畠山あゆみです。

私は北広島市に入庁する前、ある郵便局で働いていました。

5年務めた郵便局を退職するにあたり、お客様へご挨拶に伺った時のことです。私が高卒で入った頃から暖かく見守ってくれ、とてもお世話になったある大切なお客様がいました。その方は旦那さんを亡くされた際に相続の手続きをさせていただいたこともあり、本当の孫のようにかわいがっていただきました。

来局の度に何気ない世間話をしたり、時には「一人で食べきれないからみんなで食べて」とお菓子やお茶を差し入れてくれたりする優しい方で、退職することを伝えると、泣いて寂しがってくれました。

その際に「あなたが担当で本当に良かった。いつも郵便局に行くのが楽しみだったのよ、でも寂しくなるね」と言ってもらい、自分の対応に満足してくれた人がいたんだと実感することができました。

その経験から、何度か来庁していただいているお客様にはなるべく毎回自分が対応し、その後、対応内容やお客様の情報をスタッフ内で共有することで、私のお客様から担当スタッフみんなのお客様に変えていこうと日々試行錯誤しながら業務を行っています。また、特に初めて来庁されたお客様にとっては1件、1回しかないかもしれない窓口での対応を大切にし、この人が担当で良かったと思っていただけるような対応をしていきたいと今後も心がけていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心に抱く大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月25日(火)

担当者 土木事務所 伊藤 裕希

おはようございます。土木事務所の伊藤裕希です。

3ヶ月間の東広島市への災害派遣で私が担当した地区の東広島市黒瀬町では、一部の団地で河川の氾濫や土石流により、身長以上もある大きな岩が無数に転がり込んで、護岸や道路、家屋が崩壊するなど甚大な被害が出ておりました。さらに、道路には土砂や樹木が堆積したため、通行止めとなり、市民生活に大きな影響が出ている地域もありました。

東広島市全体で市の公共施設の被災総額は推定約160億円と試算しています。配属先となった建設部河川港湾課では、公共土木施設災害約680件、農業土木施設災害約1300件を東広島市職員や他県の応援職員の方々と協力し、国から災害復旧事業の補助金を交付してもらうために災害査定の説明員を務めました。しかし、被害件数が膨大なため、日中は査定対応や現場確認、地元調整等に時間を要し、夜に災害査定設計書の作成等の業務に追われておりました。

北海道と広島県では土木に関する基礎は同じでも、気候条件や土地条件等が異なるため、最初は設計に苦勞する事が多々ありました。ようやく慣れてきたところで派遣期間満了となりましたが、東広島市の復旧はまだまだ困難な状況です。近年では北海道でも集中豪雨が発生するケースが増えてきているため、近い将来、広島県で起きたような豪雨災害が北広島市でも起こりうる可能性は否定できません。私が今回の災害派遣で経験したことを皆さんに伝達し、災害に強い街づくりができるよう、業務に励みたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月26日(水)

担当者 税務課 藤本 圭吾

おはようございます。税務課の藤本です。

私は9月から11月までの3か月間、豪雨により被災した姉妹都市である東広島市に災害派遣職員として従事していました。

3か月もの間異なる自治体に身を置くと、北広島市役所で働いているときとは全く違うな、と思う瞬間が多々ありました。

自治体の規模も違えば職員数も違います。宴会の場では日本酒で乾杯するという乾杯条例があります。昼休みは庁舎の外へ出て休憩を取る人が多かったり、職員同士のコミュニケーションの取り方、業務中の庁舎内の雰囲気すらも全然違います。

もちろん個人差もあるとは思いますが、環境や組織が異なると、職員一人ひとりの考え方や働き方も少なからず異なってくるのだと思います。

どちらが良いとか悪いとかではなく、他の自治体で働くことによって、自分の職場で働いているだけでは気づくことが難しかったらう違いに触れることができたことが私自身の大きな財産になっていると思います。

また、ただ違いに触れるだけではなく、そこからイメージを膨らませ、これまでと異なった視点で物事を捉え、多様な考えを持つことができるような市職員になれば、今回の被災地派遣はさらに人事交流としての大きな意味合いを持つこともできるのかと思います。

10年以上前にはありませんが、北広島市と東広島市の職員の間で年単位での人事交流があったそうです。個人的にはまた近い将来そのような機会があってもいいのでは、とも思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年12月27日(木)

担当者 業務課 記内 瑞穂

おはようございます。水道部業務課の記内瑞穂です。

突然ですが、皆さんには大切にしたいものはありますか。

私は平成30年7月豪雨による災害のため、姉妹都市である広島県東広島市にて、地すべりを起こした箇所へ治山ダムを建設するため、土地所有者の相続人調査や工事施工の同意を取得する復旧支援業務に従事しました。

赴任した当初は被災した現場を見て、自然のおそろしさに愕然とするばかりでしたが、赴任後すぐに発生した北海道胆振東部地震により考えは大きく変わりました。

現在は土嚢により応急復旧はしていますが、山肌が剥き出しになったまま依然として変わらない景色、家屋に土砂や河川等の水が流れ、泥だらけになりながら後片付けをして土砂の撤去を待つ市民の方の姿に胸が締め付けられ、生まれ育った大好きな街の風景が、雰囲気が一変し、当たり前にあったもの、大切にしていたものを失うことがこんなにも辛いことだとは知りませんでした。

東広島市で地すべりを起こした箇所は数百以上に上り、3年から4年をかけて対応していくため、復旧にはまだまだ時間がかかります。3か月というわずかな期間でどこまで東広島市の力になれたかはわかりませんが、市民の方が少しでも早く日常を取り戻せるよう、持っている自分自身の能力と心を全力で使った貴重な時間だったことは確かです。

この派遣の経験から、自分にとって何が大切か、大切なものを守るためにはどのように対応していかなければならないのかを考え、行動することを学びました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、残りわずかな2018年も笑顔で過ごしましょう。